

# 青森県における子育て支援の実態と保護者のニーズに関する調査 (1) —— 保護者へのインタビューから ——

## Research on the Present Situation of Child Care Support and Parents' Needs in Aomori Prefecture (1): Based on Interviews with the Parents

管田 貴子\*・増田 貴人\*\*・伴 碧\*\*\*

Takako KANDA\*・Takahito MASUDA\*\*・Midori BAN\*\*\*

### 【論文要旨】

本調査の目的は、青森県内の幼稚園・保育所における子育て支援活動に参加した経験をもつ保護者と、参加した経験をもたない保護者を対象にインタビュー調査を行い、より多くの保護者が参加しやすい子育て支援活動のあり方を探ることである。また、幼稚園・保育所で実施している子育て支援活動の実態と課題を、担当保育者への質問紙調査によって明らかにした。

キーワード：子育て支援、保護者、ニーズ

### I. 問題と目的

国による少子化対策として実施される子育て支援策には、仕事をもつ保護者が子育てと仕事を両立しやすくするための支援が中心であり、家事・育児に専念する保護者に対する公的な支援は行われにくい傾向がある(津田, 2003)。このような中、平成20年の幼稚園教育要領の改訂では、幼稚園が地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を果たし、子育てを支援することが強調された。すなわち、幼稚園への通園の有無にかかわらず、地域の親子の子育てを支援していくことが園に期待されている。

また保育所においても、平成20年の保育所保育指針の改訂により、相談や助言といった子育て支援を、専門機関と連携をとりながら実施していくことが明記された(武藤・民秋, 2008)。すなわち、幼稚園・保育所が子育て支援に果たす役割はますます高まっている。

宮城県において杉山ら(2006)が実施した調査によれば、幼稚園・保育所の回答には、「地域が求めている

子育て支援が分からない」という意見が多い。すなわち、保護者のニーズが分からない保育者が多いなかで、子育て支援活動が行われている現状が見える。また、杉山らの調査では、保護者を対象とした調査を行っていない点で、課題が残る。

青森県においても、少子化が急激に進み、核家族世帯の割合が54.2%と地域のつながりが希薄化するなか、子育て支援は大きなテーマの一つとなっている(わくわくあおもり子育てプラン [青森県次世代育成支援行動計画], 2005)。しかしながら、地域の子育て支援のセンター的役割を果たす幼稚園や保育所において、子育て支援を担当している保育者や、参加している保護者に対するまとまった調査は行われておらず、実態と課題を明らかにした先行研究は見られない。

よって本調査では、幼稚園・保育所の子育て支援活動に参加している保護者を対象にインタビュー調査を行い、子育て支援活動に参加したきっかけやニーズを捉える。加えて、子育て支援活動に参加していない保護者に対してもインタビューすることで参加していない理由やニーズを聞きとり、より多くの保護者が参加

\* 弘前大学教育学部学校教育講座  
Department of School Education, Faculty of Education, Hirosaki University  
\*\* 弘前大学教育学部家政教育講座  
Department of Home Economics, Faculty of Education, Hirosaki University  
\*\*\* 弘前大学大学院教育学研究科研究生  
Graduate School of Education, Hirosaki University, A Research Student

しやすい子育て支援活動のあり方を探る（論文（1））。  
 さらに、青森県内の幼稚園・保育所において実施されている子育て支援活動の実態を、担当保育者への質問紙調査によって明らかにする（論文（2）・（3））。

II. 方法

(1) 調査方法と調査対象

2008年12月に、弘前市内で就学前の子どもをもつ母親11人を対象に、インタビューを行った。構造化されたインタビューで、かつ母子同席の面接を行ったため、一部回答してもらえなかった項目もあった（資料参照）。

母親の年齢は20代～40代で、ほぼ半数が仕事をしている（Figure.1・Figure.2）。出身地は弘前市内が7人、弘前市以外の県内が2人、県外出身者は2人であった（Figure.3）。子どもの年齢は0～6歳までで、2歳以上の子どもの通園率が高かった（Figure.4・Figure.5）。

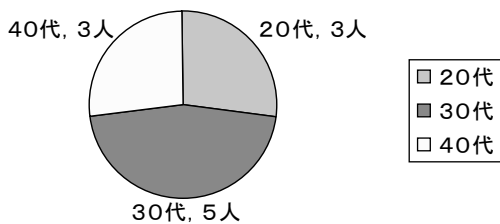


Figure.1 年齢

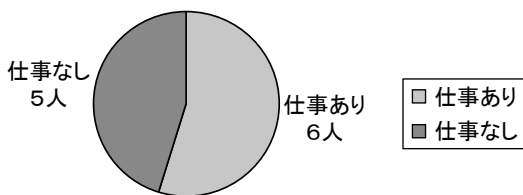


Figure.2 仕事の有無

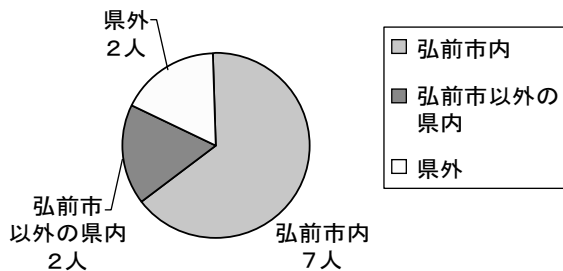


Figure.3 出身地

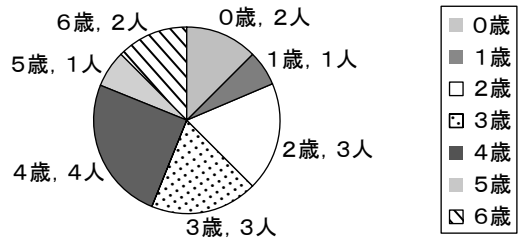


Figure.4 子どもの年齢

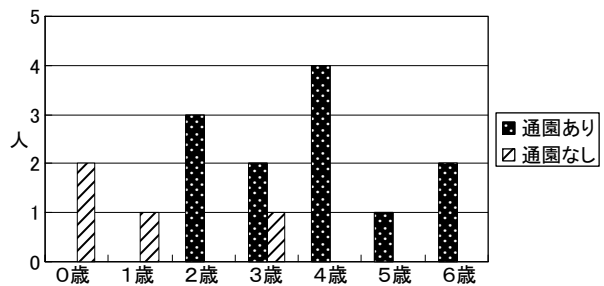


Figure.5 子どもの通園

III. 結果

【1】子育て相談

保護者は「幼稚園教諭・保育士による相談」を特に必要としているが、実際に相談している保護者は少なかった（Figure.6）。「先生方も忙しいので深くは相談できない」や「子どもを入園させていないため相談できない」など、多忙な保育者や、地域の保育施設の保育者に相談することをためらっていた。

「専門家による相談」も半数以上が「必要」と回答したが、実際に相談したことのある保護者はおらず、専門家とのネットワークが不足している（Figure.7）。「子育ての専門家が近くにほしい」が、「保健センターなどの相談活動には、なかなか足が向かない」、「子どもを預けることができないため、専門家へ相談に行けない」との回答があった。

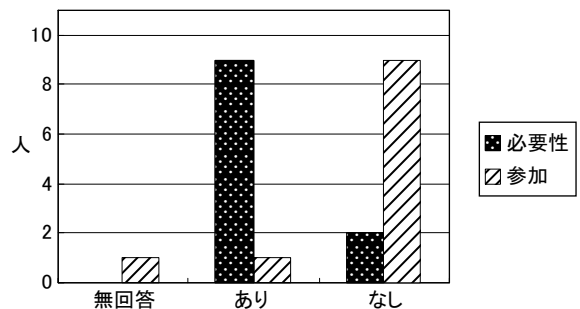


Figure.6 保育者による相談

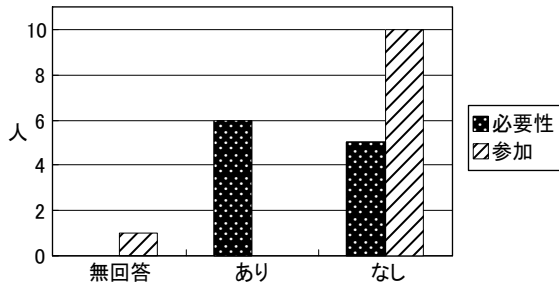


Figure.7 専門家による相談

【2】子育ての講座・講演会

保育者・専門家による講座の両方において、半数以上が「必要」と答えた (Figure.8・Figure.9)。実際に「保育者による講座」に参加したことがある保護者もいたが、「専門家による講座」に参加したことのある保護者はいなかった。専門家による講座について、「青森では聞いたことがない」、「託児がないので、講座に参加できない」との回答があった。

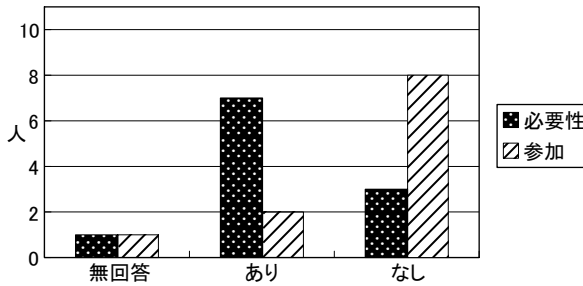


Figure.8 保育者による講座

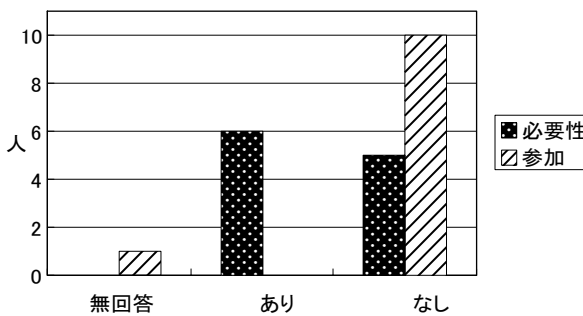


Figure.9 専門家による講座

【3】子育て情報の提供

子育て情報は回答者全員が「必要」と回答したが、情報を入手している回答者は2人のみであった (Figure.10)。「県や市でどのような行事があるかわからない」、「子どもが入園していないため、知る場所がなく参加できない」、「スーパーの掲示板で情報を得ているが、その他の情報はほとんどない」など、情報が

十分に伝わっていなかった。

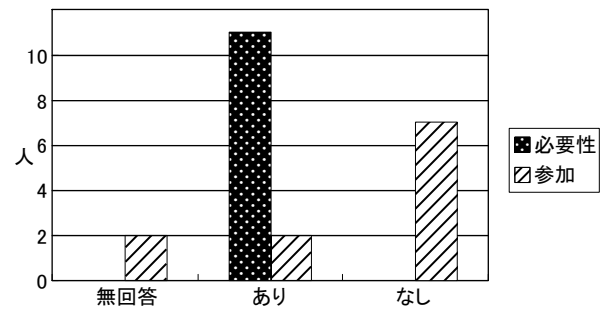


Figure.10 子育て情報の提供

【4】幼稚園・保育所での公開保育

公開保育の必要性は高く (Figure.11)、実際に参加して「保育所で子どもが何をしているのか知ることができた」との回答があった。特に、弘前市以外の出身者からは、「どこで公開保育を行っているのか情報や宣伝が入ってこない」ため、公開保育の情報提供を求める声があった。

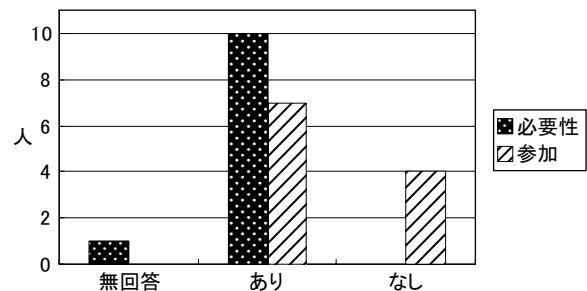


Figure.11 幼稚園・保育所での公開保育

【5】父子交流

父子交流の関心は高いが (Figure.12)、「なかなか父子交流の場がない」との声が聞かれた。回答者は全て母親であり、「父親にもっと育児に参加してほしい」という意見が聞かれた。

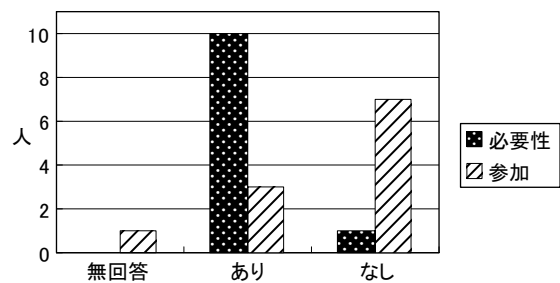
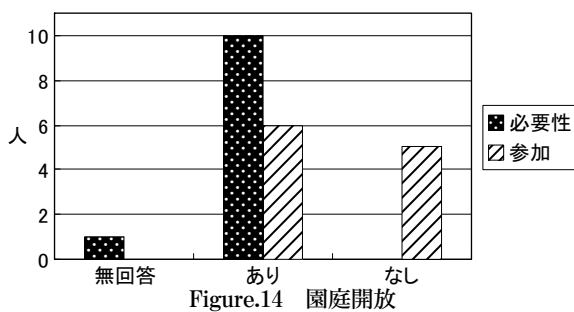
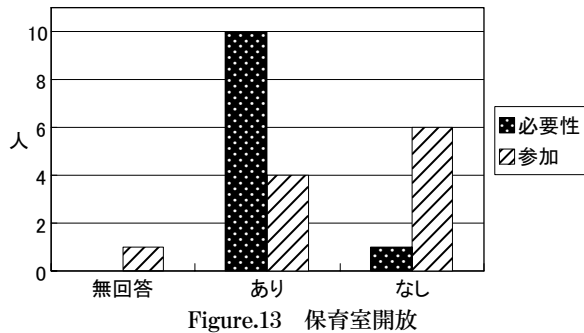


Figure.12 父子交流

【6】保育室開放・園庭開放

保育室・園庭開放は、「子どもを連れて、家以外の場所にも行きたい」という保護者からの要望が強かつ

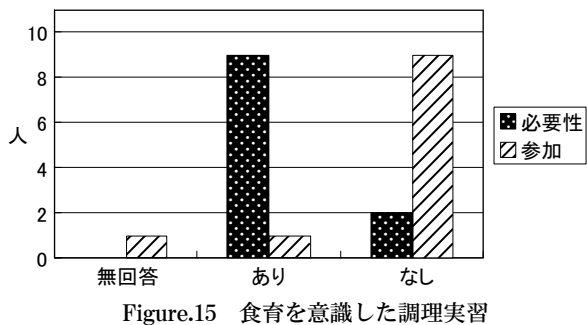
た。保育室・園庭開放へ参加したことがある保護者は半数以上で、「子どもを遊ばせる安全な場所」として使用されていた (Figure.13・Figure.14)。



【7】食育を意識した調理実習

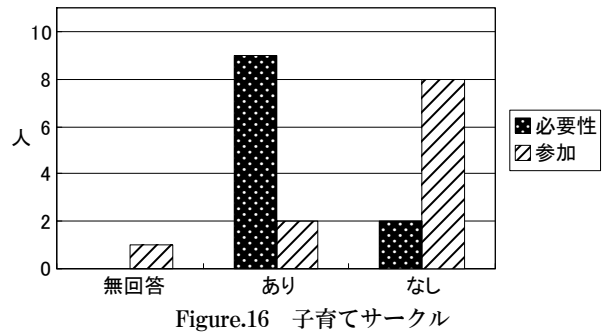
食育への保護者の関心は高いが、参加者は少ない (Figure.15)。

離乳食を始めた保護者からも、「食育に関する知識を学びたい」という希望があった。



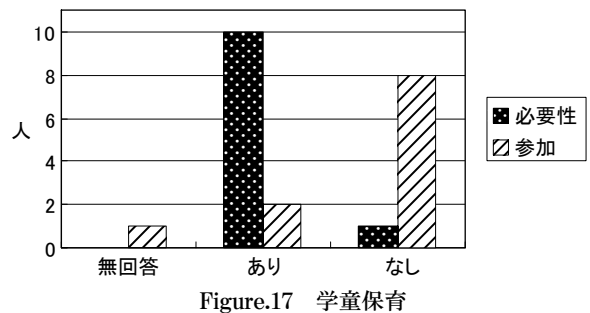
【8】子育てサークル

家の近くや子どもが通園する幼稚園や保育所に、子育てサークルがあれば参加しやすいが、現状としては、どの園にもこのようなサークルがあるわけではない。そのため、子育てサークルに参加したくても、参加できない保護者がいた (Figure.16)。



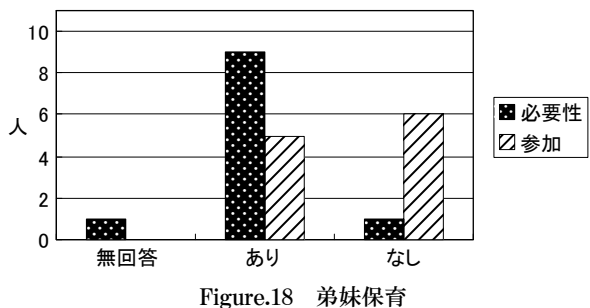
【9】学童保育

就学前の子どもをもつ保護者を対象としたため、「将来的に、学童保育を利用したい」という保護者が多かった。



【10】弟妹保育

弟妹保育の利用者は半数近くおり、保護者は年齢が上の子どもが通園している園で、下の子どもも保育してもらっていた (Figure.18)。



【11】行事参加

行事参加は「必要」、「参加した経験がある」の両方の回答で多かった (Figure.19)。「回覧板のお知らせを見て参加」したり、「ママ友だちが子どもを通わせている園の行事と一緒に参加」していた。行事に関する情報は収集しやすく、積極的に参加している保護者が多かった。

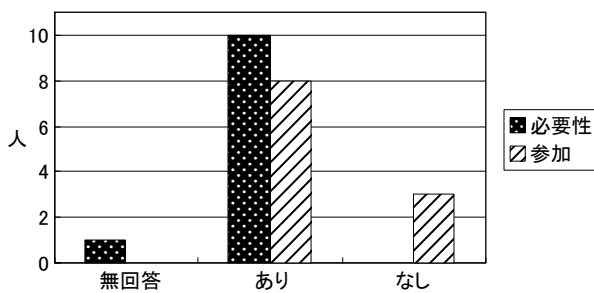


Figure.19 行事参加

【12】絵本・玩具の貸出

絵本・玩具の貸出の必要性があると回答した保護者は約半数で (Figure.20)、実際に「園で絵本やベビー雑誌、CDなどを借りた」との声が聞かれた。しかし、「保育所では貸出を行っていないため、図書館を利用している」という保護者もいた。

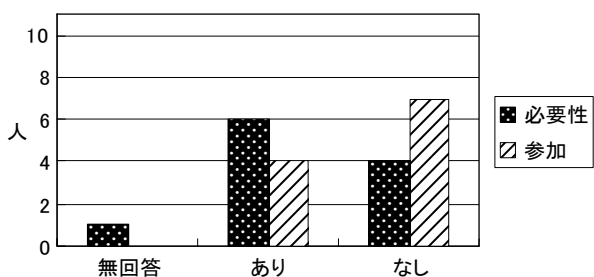


Figure.20 絵本・玩具の貸出

【13】おしゃべりの場

おしゃべりの場の必要性は高く (Figure.21)、「子どもの年齢が近いお母さんたちの集まりの場がほしい」や、「母親だけで集まるよりも、親子で集まる場がほしい」との意見が聞かれた。県外出身者からは、「県外から嫁に来たので、親同士の交流がしたい」との要望があった。

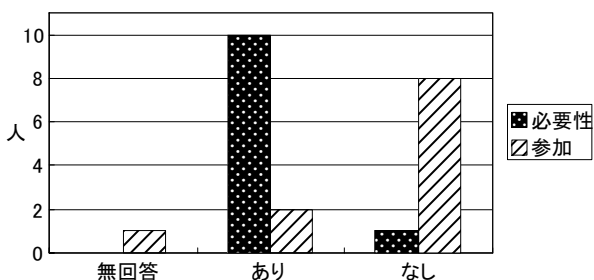


Figure.21 おしゃべりの場

【14】親子遊びの活動

親子遊びの活動については、「子どもとできる手遊び・からだ遊びを教えてほしい」や、「家の近くで子育て活動がないため、近くの公民館などで行ってほしい」、「平日は仕事をしているので、日曜・祭日に行っ

てもらおうと参加しやすい」との要望があった。

親子遊びの活動に「参加したことがない」回答者は、その理由として「子どもが小さいので泣いたら困るため」や、母親自身が「心の余裕がなかった」ことを挙げている。

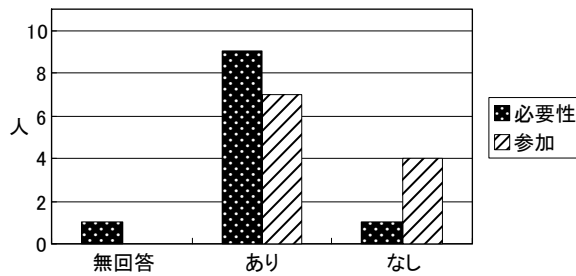


Figure.22 親子遊びの活動

【15】園以外での保育

園以外での保育は必要性が低いという特徴が見られ (Figure.23)、保護者は幼稚園や保育所での保育を望んでいた。

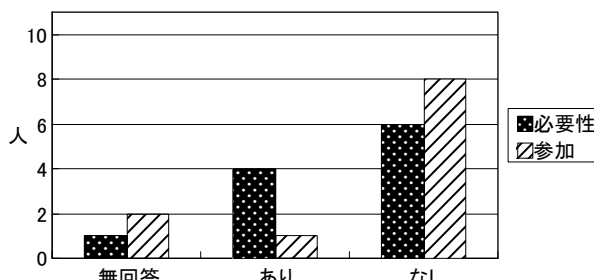


Figure.23 園以外での保育

【16】子育て情報の入手方法 (複数回答)

子育て情報を、「幼稚園・保育所の園だより」や「広報紙」から得ている保護者が半数以上であり、閲覧や掲示された紙面から情報を得ているという傾向が見られた (Figure.24)。インターネットから情報を得ている保護者は、「病気になったときに携帯で調べる」と回答した。

また、保護者間のネットワーク利用者は2人で、「園で話したいが役員や0歳から入園している人たちでかたまっており、途中入園の保護者は話に加わりにくい」といった意見も聞かれた。保育者は保護者同士が交流する場を提供し、子育ての情報を交換できるような関係づくりを援助することが求められる。

「その他」の情報の入手方法には、「閲覧板・スーパーに掲示してあるチラシ・保育雑誌」が挙げられた。

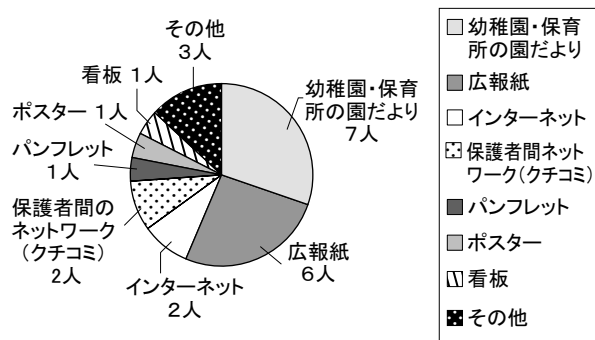


Figure.24 子育て情報の入手方法

## 【17】保護者からの要望・意見など

## ①子育ての情報に関して

保護者は子どもを入園させる幼稚園・保育所を決めるさい、それぞれの園の情報を入手する必要がある。しかし、ある保護者は、「市役所で保育所のパンフレットをもらったが、各園の特色が分からず困った」と答えた。子育てで忙しい保護者にとって、一園一園に電話をし、情報を入手するということは大変な手間である。このように、市や園が発行するパンフレットや情報紙には、保護者が必要とする子育ての情報が、詳細に掲載されなければならない。

また、子どもを幼稚園や保育所に入園させていない保護者には、園で実施される「一般の親子向けの行事」に関する情報が、入りにくい傾向にあった。園が地域の子育てセンターとしての役割を果たすためには、地域に住む保護者へ、より多く情報を発信していくことが求められる。

さらに、保護者が様々な子育て支援活動に気兼ねなく参加できるよう、子どもが泣いても気にしなくてよいことや、活動の内容によっては託児を準備して、広報紙に記すことが求められる。

## ②子育て支援の場所に関して

「保健センターなどで相談活動を行っているのは知っているが、なかなか足が向かない」という保護者は、子育て支援の場所が家から遠いことを理由として挙げた。乳幼児を連れた保護者が子育て支援活動に参加するためには、家の近くに支援場所があることが望まれる。すなわち、子育て支援に取り組む幼稚園や保育所、地域の施設の増加が期待される。

## ③子育てしやすい環境づくりに関して

保護者が働きながら子育てをするには、子どもを安心して預けられる環境を作ることが求められる。「子どもが保育所に入所できるかとても不安である」という保護者の声が聞かれたように、今後さらに、仕事と

子育てが両立しやすい子育て環境づくりに取り組んでいかなければならない。

## IV. 考 察

本調査で質問した子育て支援の内容では、いずれも「必要がある」と回答した保護者の人数が、その子育て支援に「参加したことがある」と答えた保護者の人数を上回った。すなわち、全体的に保護者のニーズに十分に答えられていない現状が示された。

なかでも、「子育て情報」は保護者全員が求めているが、実際には、十分に情報を入手できていない状況が見られた (Figure.10)。これは、「幼稚園・保育所の園だより」によって子育て情報を入手している保護者が最も多く、子どもが入園していない保護者は、情報を入手しにくいためである。また市などの広報紙から情報を得ている保護者もいたが、市が配布する保育所の紹介パンフレットには、保護者が必要とする詳細な情報が掲載されていないといった課題が見られた。

今日、インターネットによって様々な子育て情報が得やすくなっているが、紙面によって情報を収集する保護者が最も多かった (Figure.24)。これは、子育て中の保護者が、インターネットを通して情報を収集する時間的・精神的余裕がないことや、インターネットを使う環境にない保護者がいることも考えられる。また、本調査では保護者間のクチコミによって情報を収集している保護者が少なかった。よって、保護者間のネットワークづくりを手助けすることも、子育て支援として期待される。

保護者が最も参加した経験のある活動が、園の「行事参加」であった (Figure.19)。しかし、行事への単発的な参加が、子育て支援として保護者に果たす役割について検討する必要がある。たとえば、保護者は身近な幼稚園や保育所の保育者を、子育ての相談相手として求めているが、保育者に相談した経験をもつ保護者は1人であった (Figure.6)。園行事に参加するのみではなく、行事への参加をきっかけに、保護者が保育者に子育ての相談をし、子育ての情報も得られることが求められる。

幼稚園や保育所における子育て支援は、このような保護者のニーズを踏まえることで、より多くの保護者が参加しやすく、求める支援を提供することになる。保護者のニーズに応えるためにも、幼稚園や保育所の子育て支援の実態と課題を論文 (2)・(3) で明らかにし、さらに子育て支援のあり方について考察を深めた

い。

**引用文献**

青森県 (2005) わくわくあおもり子育てプラン [青森県次世代育成支援行動計画]  
<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/kodomo/files/wakuwakuplan.pdf>  
 武藤隆・民秋言 (2008) ここが変わった! New 幼稚園教育要領・保育所保育指針ガイドブック フレーベル館  
 杉山弘子・東義也・石田一彦・佐藤陽子 (2006) 宮城県における子育て支援の実態 (1) - 保育所における地域子育て支援活動 - 尚絅学院大学紀要 第52集 29-42頁  
 津田亜矢子 (2003) 地域における子育て支援 - 子育てサークルが持つ意味・役割の探求, そして, その「場」の活用について - 広島大学マネジメント研究3 136頁

**【資料】**

- 質問項目 -

1) お子さんの年齢と通園施設について教えてください。

第1子 ( 歳 か月)・第2子 ( 歳 か月)・第3子 ( 歳 か月)【幼稚園・保育所・通園なし】

2) 記入して下さっている方に当てはまるものに、○をつけてください。

① ( ) 10代 ( ) 20代 ( ) 30代 ( ) 40代 ( ) その他

②お子さんとの関係 ( ) 父 ( ) 母 ( ) その他:[ ]

③お仕事はされていますか ( ) はい ( ) いいえ

④出身地はどちらですか ( ) 弘前市内 ( ) 弘前市以外の青森県内 ( ) 青森県外

3) 以下の子育て支援の項目について当てはまるもの(支援を必要とする・必要としない)(参加したことがある・参加したことがない)について○をつけてください。なお、参加したことがあると答えた方は、「参加してよかった」と感じたことについて括弧内にご意見をご記入ください。

1 幼稚園教諭・保育士による子育て相談  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

2 専門家による子育て相談  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

3 幼稚園教諭・保育士による子育て講座・講演会  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

4 専門家による子育て講座・講演会  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

5 子育て情報の提供  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

6 幼稚園・保育所での公開保育  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

7 父子交流の場  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

8 保育室開放  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

9 幼稚園・保育所での園庭開放  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

10 食育を意識した調理実習  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

11 子育てサークル  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

12 学童保育  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )  
 【 】

13 弟妹保育  
 必要と ( する ・ しない )  
 参加 ( ある ・ ない )

